

平成17年度 決算に対する

各党派の見解

計画的で着実な区政運営を

自由民主党・民社クラブ

平成17年度一般会計歳入歳出決算は、歳出では内部努力による人件費の抑制、歳入は景気の回復基調を受けた都区財政調整交付金の大幅な増など、収支の改善が顕著に見られました。

一方、区税収入の伸びが停滞する中、今後の歳入予測が不透明な状況を考慮し、財政調整基金などに積極的な積立を行い、持続可能な財政運営の礎を築かれたことは、我党派として評価するものです。また、中野区行財政5か年計画で削減された「私立幼稚園保護者補助金」は、我党派の公私間格差是正の要求に応え、一定の引き上げが行われ、今後のさらなる格差解消に向けた施策展開につなげていただいたことについても、大いに評価いたします。

今後も、中長期的な財政需要や収入要因を的確に把握し、計画的な基金や起債の活用などの取組みを一層進め、先行きが不透明な経済環境にあっても着実に事業成果があげられるよう、一層の努力を期待します。

区民のための計画執行を

公明党議員団

平成17年度は、基本構想や10か年計画、教育ビジョンを策定するなど、区政変革の年度となりました。子ども医療費助成制度の創設、保育園民営化によるサービス向上、コミュニティバスの運行など公明党が要望していた政策の事業化も図られました。

単年度収支が13億3千7百万円余の黒字、実質収支比率は6・3%、経常収支比率は80・1%と財政が若干改善されました。

しかし、普通会計ベースで、人件費率は23区中3番目に高いこと、基金は同20番目の低さです。今後、学校の再編や耐震補強工事など大規模な施設整備などへの財政負担が予想されます。また、人口減少・高齢社会で子ども医療費助成や介護予防施設の拡充、人材の育成など時代に合った施策の対応が求められます。

引き続き徹底した行革を進めながら、10か年計画を着実に実施するとともに、それを担保する財政詳細計画の策定を要請します。

暮らし優先の区政運営を

日本共産党議員団

自民・公明政権による「構造改革」は、区民の暮らしと営業を直撃し、社会的格差と貧困は、一段と広がりました。

中野区は、こうした格差を是正し、区民の「痛み」をやわらげる事業を行うことが求められていました。

しかし、区は中野駅周辺や東中野駅などの大規模再開発に備えて「ため込み」を優先し、05年度は、50億円余を基金へ積み立てました。この間の積立金の急速な伸びは、23区の中でも突出しています。

都区財政調整交付金の大幅増などによる実質収支の黒字額(純剰余金)は、区政史上最大の42億円余にも及び、区民のいのち・暮らしを支えるための施策をもっと行うべきだったことを示しました。にもかかわらず、成人健診の有料化や訪問介護利用料助成の中止、国保料の値上げなど区民の負担を増やし、保育園の民営化など区民施策を後退させたことは認められません。

ピンチをチャンスに!

民主クラブ

平成17年度決算は、前期の田中区政を、財政上の数字で評価する決算でした。就任した14年度決算での経常収支比率が89・9%だったのに対し80・1%に、実質収支比率が1・6%から6・3%へとそれぞれ望ましい数値を達成又はこれに限りなく近づけました。さらに、公債費比率、地方債残高、積立基金の額などいずれも改善を示しています。

施策面では、野方駅北口開設のための事業用地取得に向けた調整、区北部地域へのコミュニティバスの運行、区立小中学校再編計画の策定など、これまで「踏み出せなかった一歩」を進めたことは高く評価します。

さて、今回の議会では、国家公務員住宅の移転の問題が取り上げられ、それによる区税収入減は3億円とされました。しかし3億円減収になったら5億円増収になるものを誘導する、それが行政の役割です。ピンチをチャンスにかえる区政が進められることを期待します。

次世代に責任果たす区政を

市民自治

2005年度は「新しい中野をつくる10か年計画」を策定し、持続可能な中野の実現に向けて大きな一歩を踏み出したことを評価します。

計画を着実に推進するために「中野区行政革新5か年プラン」を策定し、区の果たすべき役割を明示しました。

まず、支援を必要とする人へのセーフティネットでは、先駆型子ども家庭支援センターとして出産後の育児支援ヘルパー派遣や虐待防止のための家庭訪問等、

地域へ出向く事業の展開。民間の力を活かした認知症グループホームの開設。知的障害者通所施設整備に向けた取り組みを進めました。

また区民が責任を持って豊かな地域社会をつくれるように、「区民公益活動推進に関する条例」を制定しました。新たな公共サービス

の担い手である区民の知恵やエネルギーを最大限生かし、社会状況の変化に応じた取り組みを積極的に進め、区民の暮らしをしっかりと支えることが必要です。

意見の分かれた案件 (第3回定例会)

【○：賛成 ×：反対 ー：退席】

件名	自・民(16)	公明(8)	共産(8)	民主ク(4)	市民(2)	無所属(3)	結果
区長提出議案							
中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○×	可決
中野区立幼稚園条例の一部を改正する条例(修正案)	○	○	×	○	○	○×	可決
中野区立幼稚園条例の一部を改正する条例(修正案部分を除く原案)	○	○	×	○	○	○×	可決
決 算							
平成17年度中野区一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	○-	認定
平成17年度中野区国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	○×	認定
平成17年度中野区介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○×	認定
陳 情							
(18)第21号陳情 障害者自立支援法施行に伴う区独自の負担軽減策の実施について(2項)	×	×	○	×	×	×	不採択

*議員数は議長を除く。
無所属議員については、党派と同様の扱いで掲載。
党派等の略称 自・民：自由民主党・民社クラブ、公 明：公明党議員団、共 産：日本共産党議員団
民主ク：民主クラブ、市 民：市民自治、無所属：無所属議員

中野区議会定例会(一般質問)を
テレビ放送しています

中野区議会では、JCN中野(シティテレビ中野)で、議会のテレビ放送を行っています。内容は、各議員の一般質問などの録画放送です。放送予定などは、決まり次第、中野区議会ホームページに掲載します。ぜひご覧ください。
【問合せ】区議会事務局(電話3228-5585)

